

第4回下水熱利用推進協議会 議事要旨概要

日時：平成25年10月17日（木）10：00-12：00

場所：三菱総合研究所 4階 大会議室 AB

議事：

- (1) 下水熱利用推進協議会の進め方について
- (2) 下水熱利用プロジェクト構想構築支援事業について
- (3) 下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ策定事業について
- (4) 下水熱利用プロジェクト推進ガイドラインについて
- (5) 委員からの情報提供

主な議事内容は以下のとおり。

- (1) 事務局より、今年度の本協議会の進め方について説明。
- (2) 事務局より、下水熱利用プロジェクト構想構築支援事業について説明。
- (3) 事務局より、下水熱等未利用熱ポテンシャルマップ策定事業について説明。主な意見は以下の通り。
 - ・ ポテンシャルマップ策定の対象地域の選定時には、単に熱ポテンシャルが大きいかという視点だけでなく、下水熱利用によりその地域の産業発展につながるか等の視点もあるとよい。追加的な付加価値があれば、その後の事業構想策定にもつなげやすいだろう。
 - ・ 農業用途での下水熱利用等、これまで議論されてこなかった新たな熱需要を見込むことも含めて検討してほしい。
 - ・ 下水処理場では生物処理が広く使われているが、下水から採熱する場合、温度低下により生物処理に問題が起こる可能性にも留意したほうがよい。ただし、熱交換器による採熱を行ったとしても、処理場流入温度の低下は限定的であり生物処理への影響はほとんどないのではないかとの意見もある。
 - ・ ポテンシャルマップの策定に際しては、需要家のニーズを喚起するために需要家側の知りたい情報も揃えることが重要だろう。需要家側のニーズを把握してはどうか。
 - ・ ポテンシャルマップは精度高く、ユーザーが安心して使えるものである必要がある。
- (4) 事務局より下水熱利用プロジェクト推進ガイドラインについて説明。
- (5) 中央復建コンサルタンツより、NEDO 実証研究グループの取組について説明。積水化学工業より、仙台市との下水熱利用共同研究、B-DASH 実証事業について説明。

以上